

公民館情報

麻生公民館ギャラリー 「しまだ和花 作品展」

麻生公民館ギャラリーでおなじみの「しまだ和花作品展」を下記の日程で行います。今年のお品テーマは「キラキラアート展」です。島田さんの描く、色鮮やかでキラキラな作品をお楽しみください。

- ▶ 期間 9月5日(金)～10月4日(土)
※毎週月曜日は休館
※9月15日(月・祝)は開館
- ▶ 時間 9:00～17:00



©nodokashimada

作品名「ギザギザねこ」

【問】 麻生公民館 ☎ 0299-72-1573

【プロフィール】 しまだ 和花

1994年生まれ。行方市出身。4歳の時、広汎発達障害と診断される。その頃から絵を描き始め、鮮やかな色彩で動植物を描いている。

行方歴史探検 2025

風土記の郷「なめがた」6

ほうじょう てがのさと
～豊穰の地 提賀里～



遺称地「提賀里」の家族の像
所在地：行方市手賀
(諸説あり)

常陸国風土記に「郡家(役所)の西北に提賀里がある。昔、手鹿(てが)という佐伯(さえき)(先住民)が住んでいたの、後に里の名前にした。里の北には香嶋(かしま)神子(のみこのやしろ)社がある。神社周辺の山野は肥沃で、草木(しい)は椎・栗・竹・茅(かや)の類(たぐい)がたくさん生えている」と記されています。提賀里が、豊穰の地であったことがよくわかります。また、香嶋神子社(鹿島神宮分社)は、現在の荒原神社に比定する説が有力です。同神社の周辺には、貝塚や古墳、廃寺跡などが散見され、古代から集落があったことを物語っています。そのため、市ではこの周辺を「提賀里」の遺称地(いしやうち)としています。荒原神社のそばには、古代の人々が豊かな暮らしを営んでいた往時(むかし)をしのんで、助け合いながらたくましく生きる家族の像(いづ)が立てられています。
※遺称地とは、古くから遺構や遺跡があったと伝承されている土地(諸説あり)

※常陸国風土記(1992 常陽藝文センター)、常陸国風土記の世界(1999 茨城県立歴史館)玉造史叢第66集、鹿行の文化財第53号(2023 鹿行地方文化研究会)を参考にしています。

【問】生涯学習課(北浦庁舎) ☎ 0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！

慌てないで！災害後に増える住宅修理のトラブルにご注意を！！



事例 突然業者が来訪し「お宅の屋根瓦がずれているのが見えた。地震の影響かもしれない。無料で点検する」と言われ、地震の後で影響が心配だったので依頼した。すぐに点検してもらい、屋根瓦の写真を見せられ「放置すると雨漏りがして大変なことになる。早く工事をした方がいい」と屋根工事を勧められ、言われるがまま約60万円の契約をした。しかし、慌てて高額な契約をしたことに不安を抱いたので解約したい。



解説 近年、台風や大雨・大雪、地震などによる自然災害が毎年のように全国各地で発生しています。自然災害が発生した場合、それに便乗した悪質商法など、自然災害に関連した消費者トラブルが多く発生する傾向があり、特に被災地域では、多くの相談が寄せられています。また、災害直後でなくとも過去の災害を持ち出したり、将来の不安をおおったりして勧誘され、トラブルになるケースも見られます。以下のポイントを押さえておきましょう。

- ① 工事の必要性、工期や費用が適正なのかすぐに判断するのは難しいため、その場では契約せず、複数の業者から見積もりを取って検討しましょう。不要な場合はきっぱりと断りましょう。
- ② 「保険を使って自己負担なく修理できる」「申請サポートをする」と勧誘されたら注意が必要です。
- ③ 業者からの訪問や電話勧誘を受けて契約した場合、クーリングオフできる可能性があります。



— 不安なときは一人で悩まず、まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎ 0291-34-6446
月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～12:00、13:00～16:00



▲相談予約はこちらから